

- 1 会議名 全員協議会
- 2 日時 令和5年9月22日(金)  
午前10時～午前10時48分
- 3 場所 第2・第3委員会室
- 4 出席議員 15名
- 5 出席者 副市長 柴田義晴、総務部長 中村定秋、総務部専門監 齋藤元英、健康福祉部長 長谷川忍、建設部長 片岡和浩、消防長 岡本康弘、教育こども未来部長 近藤玲子  
秘書企画課長 秋田伸裕、協働安全課長 小松浩、同統括主査 水野功一、行政課長 佐野剛、同主幹 井手上豊彦、健康課長 原咲子、環境保全課長 隅田昌輝、都市整備課長 西村忠寿、同主幹 岡茂雄、同主幹 加藤淳
- 6 事務局出席者 議会事務局長 丹羽至、同主任 御嶽千夏
- 7 議長あいさつ
- 8 副市長あいさつ
- 9 報告事項
  - (1) 一部事務組合議会等の経過報告
    - ①小牧岩倉衛生組合議会  
代表議員 梅村議員：資料に基づき説明。  
【質疑】  
なし
    - ②愛知県後期高齢者医療広域連合議会  
選出議員 片岡議員：資料に基づき説明。  
【質疑】  
なし
  - (2) 執行機関からの報告
    - ①9月定例会に追加提出予定の議案について  
各部長：資料に基づき説明。  
総務部長：流用後の留保財源は約5億5千万円。  
【質疑】  
なし
    - ②市・市長を当事者とする訴訟の経過について  
行政課長：資料に基づき説明。  
【質疑】

なし

### ③その他

協働安全課長：令和5年度防災訓練実施概要について資料に基づき説明。従来の参観型訓練ではなく今年度は参加型訓練として計画した。9月18日の洪水警報発令時の市内の被害状況はなし。

#### 【質疑】

木村議員：内容が決定したのはいつごろか。消防団に内容が伝わっていないところがある。連絡が不十分な気がする。

協働安全課長：8月30日の防災会議で最終決定しているが、それ以前から関係担当と調整しながら訓練内容を決定している。

木村議員：それぞれのルートで連絡が入っているということか。末端まで届かなかった問題だと捉えておく。

環境保全課長：持続可能な地域づくりに関する協定の締結について資料に基づき説明。電気自動車の普及において充電設備の少なさが課題。市内の充電設備の充実を図ることを目的とし、公共施設の一部を無償で10年開放し、市が機械の導入費用を負担することなく充電設備を設置し、10年間のメンテナンスも事業者が行うことにより、設備整備を行う予定。電気代については公共施設で負担し、利用者は利用料を支払う。愛知県内では新城市と大府市が既に同じ協定を締結している。また、昨日、岩倉市飲食環衛組合と「食品ロス削減の推進に関する協定」を締結した。組合と市において飲食店の食品ロス削減を進めるために協力関係を構築することを確認した。現在予定している具体的事業は来月10月の食品ロス削減月間にポスター掲示などを計画している。それ以外は今後協議しながら実施していく。

#### 【質疑】

榊谷議員：これまでも様々な協定締結の報告があったが、今回のTerra Motors株式会社との協定は、先方からの申出なのか、市からの申出なのか。

環境保全課長：先方からの申出。

榊谷議員：これまでの協定は災害時に提供してもらうようなものが多かったが、今回の連携協力内容は意識啓発などもあり、今後協働

していく内容も協議しての締結か。

環境保全課長：基本的には充電設備の整備に関する協定であるが、意識啓発等については今後ゼロカーボンについての取組をする際に講演などお願いしていくことも想定している。

木村議員：T e r r a M o t o r s 株式会社について、どういう事業を行っている会社なのか。充電設備を製造しているのか。

環境保全課長：二輪、三輪の電気自動車の製造販売会社。充電設備については、全国の自治体と同様の協定を結んで整備を行う事業を展開している。

木村議員：充電設備と二輪、三輪の電気自動車を製造しているということか。

環境保全課長：そう。

木村議員：プラグインハイブリッドの車でも使用できるのか。

環境保全課長：今回の充電設備については、電気自動車に対応したものの。

片岡議員：充電設備の設置場所について、市の要望が言えるのか。利用が少ないようなところは避けるのか。何か決まりや想定はどこまでされているか。

環境保全課長：公共施設については普通充電設備になるので、1時間、2時間の継ぎ足し充電を想定している。そのため、市民の方が時間を費やす設備を想定している。協定の中には具体的な場所は含まれていない。考えられるのはアデリア総合体育文化センターや野寄のテニスコートなどが中心になると思われる。無償でつけていただくので、大規模な設備工事が必要な場所に設置するのは難しいとのこと。環境さえ整えば、今のところこちらが指定した場所につける。

片岡議員：T e r r a M o t o r s 株式会社が撤退された場合、設備は残ると思うが、現状復帰してもらえるのか。そのままの場合、市がランニングコストを負担しないといけないと思うが、そのあたりはどの程度詰めているか。

環境保全課長：協定の段階であり、契約について具体的な話はまだ何もしていない。万一T e r r a M o t o r s 株式会社が破綻した場合、後継の会社が運営することとなると思う。後継の会社がない場合は市の予算が必要なことも考えられる。

水野議員：1点目に、公共施設への充電設備導入は無償とのことだが、利用者の負担はどのようになっているか。2点目に、事故などで第三者に被害が生じた場合に備えて保険などに加入するのかどうかや、する場合、保険料の負担はどのようか。

環境保全課長：利用料はまだ設定していないが利用者負担となる。多くの自治体で活用が予定されているため、他の自治体とも情報交換しながら料金設定を考えていきたい。機械の不具合については、基本的にはメンテナンスを10年間先方が行う形になっているため、こちらが故意に壊したりしない限りは先方の負担と確認している。

大野議員：利用料はT e r r a M o t o r s 株式会社の収益となるのか。

環境保全課長：T e r r a M o t o r s 株式会社の収益となるが、一定の手数料を引いた残りの額は市の歳入となる。

都市整備課長：スマートインターチェンジの準備段階調査について口頭で報告。スマートインターチェンジの設置検討については、尾張一宮パーキングエリアを優先検討候補地として一宮市とともに令和4年度から検討を進めてきた。今年度、事業化の第一歩となる国による準備段階調査の採択を目指して、これまでも国に対して要望を行ってきた。しかし、9月8日にスマートインターチェンジ等の高速道路会社への事業認可及び準備段階調査着手について国土交通省より報道発表があり、残念ながら現在検討中のスマートインターチェンジについては令和5年度の準備段階調査の着手箇所に採択されなかった。参考までに今年度準備段階調査に採択されたのは全国で7箇所あり、中部管内では岐阜県の恵那峡サービスエリア、三重県の大山田パーキングエリア。採択された自治体と比較してどういった検討が足りなかったか詳細な要因については、判断基準や他市の状況が明らかにされていないため分からないが、一宮と岩倉両市において、今後の周辺の土地利用計画によっては隣接地域や交通状況へ大きな影響を及ぼすことが予想される。その影響を十分に考慮したうえで改めてスマートインターチェンジの必要性を検討する必要があるという判断がなされたということは確認している。この結果を真摯に受け止め、引き続き、国、高速道路会社、警察などと協議を継続しながら、次年度の準備段階調査の採択に向けて検討して

いきたい。

【質疑】

なし。

教育子ども未来部長：岩倉市日本語・ポルトガル語適応指導教室について資料に基づき説明。コロナ禍でしばらく議員に案内できていなかったが、参加いただければと思う。参加の場合は事前申し込みをお願いする。

【質疑】

なし。

秘書企画課長：IWAKURA DANCE FES!!!2023 ダンスパレードの申込状況について口頭で報告。第1次申込についてはキッズダンサーやダンスパフォーマンスの保護者を含めて約2万人。第2次申込については、9月12日から来週9月25日正午までの期間で現在募集中だが、本日午前8時時点で申込者数が約2万人。第2次申込は抽選となる見込み。

【質疑】

榊谷議員：当日の駐車場は八剱憩の広場と聞いたが、どのようか。

秘書企画課長：駐車場は八剱憩の広場、石仏のスポーツ広場、もう一箇所大山寺の中部電力の土地を借りて駐車場とする。全て会場から遠いが、市内の方は対象としておらず、違法駐車防止のための対応。

榊谷議員：当日の申込は岩倉病院と市民から聞いたが、どのようか。

秘書課企画課長：当日申込場所は設けていない。準備しているのは集合場所として公共施設を予定している。岩倉中学校や南小学校、岩倉病院もそう。当選者の本人確認場所である。

榊谷議員：では、本人確認の場所をもう一度、何箇所でどこなのか。

秘書企画課長：岩倉中学校、中央公園、史跡公園、郷内公園、南小学校、石塚硝子株式会社駐車場、岩倉病院。

総務部長：こちらから送付したチケットに番号がついており、番号ごとに集合場所が違う。一般市民の方に集合場所を全て伝えると混乱を招くので、ご配慮いただきたい。

(3) その他

なし

1 0 協議事項

なし

1 1 その他

なし